

## 第6回国際コンファレンス

# 「世界同時金融危機下のアジア金融セクターの視点」

セッションⅢ「アジアの金融セクター改革:安定化のための効果的な金融仲介の確保」

### 中小企業金融等を円滑にするための金融機関に対する規制と監視の役割

ハンク・リム  
シンガポール国際問題研究所  
研究部長

#### 概要

世界金融危機は中小企業に深刻な打撃を与えた。中小企業セクターは、需要の低下に見舞われただけでなく、金融機関のリスク回避度の高まりや流動性の減少によって銀行ローンや運転資金の調達での制約も受けている。アジア各国の政府はこれに対応して様々なサポートを行っている。それらの多くは金融セクターに介入して資金供給量を増やすことを主眼としている。融資保証、融資への利子補給、中小企業向け融資のターゲット設定などがそのような施策に含まれる。しかし、それらの施策はほとんど効果がなく、金融セクターを強化することによって中小企業の資金ニーズを満たしながら金融システムを安定させるという長期的な目標に対しては逆効果となる可能性さえある。このペーパーは、アジア地域の政府がこの目標を達成するために採用できる監視・規制戦略を提案するものである。ここでは、過去の研究と1997年のアジア金融危機後から学んだ教訓を参考にして、金融セクターへの政府介入の役割とそれが中小企業に与える影響を検証する。各国政府には特に、金融セクター改革に関して長期的で幅広い観点から青写真を描き、現在取られている対応策とそのような計画との整合を図る必要があることを提言したい。中小企業向け融資のニーズを満たすという目的と金融システムの安定という目的を同時に達成するには、監視と能力を強化する全体論的アプローチを採らなければならない。そのような施策は、金融機関の取引技術の強化などを通じて実施でき、中小企業向け融資能力の向上に向けた提案能力や会計知識のトレーニングなどで補完できる。このペーパーはシンガポールの経験から教訓を引き出す。